



2003年09月19日

## フォルクスワーゲン ルポ GTI カップ ジャパン2003第5戦(富士)リザルト 壺林選手3勝目を獲得しシリーズチャンピオンに

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:梅野 勉)がサポートする、JAF(日本自動車連盟)公認ナンバー付きワンメイクレース、"フォルクスワーゲン ルポ GTI カップジャパン 2003"(以下:LCJ)の第5戦(最終戦)が、9月13日(土)、14日(日)改修を目前に控えた富士スピードウェイ(所在地:静岡県駿東郡)にて開催されました。

フォルクスワーゲン グループ ジャパンは現在「ブランドの変革」を推進しており、LCJによってその若々しく革新的、かつダイナミックなブランドをサーキットからも発信していくことを目的としています。また、LCJは2カテゴリー制(初心者向けの「クラブマン」と、上級者の「エキスパート」)で実施されています。

決勝戦は、薄曇りの絶好のコンディションの中、1周4.4kmのレーシングコースを10ラップする44kmのレースとして行われました。エキスパートクラスでは、今季第1戦(筑波)、第4戦(美祢)で優勝を飾った壺林選手(CRT Lupo GTI)が、決勝レースを3番グリッドからスタート。スタート直後の第1コーナーで前を走る2台をパスすると、シリーズ暫定トップの坂本選手(Team DUO Lupo)と、1周ごとにトップが入れ替わる激しいバトルを演じ、最終週のホームストレートまでテールトゥーナズの僅差にて争い、壺林選手がチェッカーを受けました。この結果今季3勝目を飾り、シリーズポイントでもトップに躍り出て、10月にドイツ ホッケンハイムで実施されるルポカップ最終戦参加の権利を獲得しました。一方のクラブマンクラスは、第3戦、第4戦に続き増淵選手(ルポ i-MAGIC&afimp)が3連続の優勝を飾りました。増淵選手はシリーズポイントでも64Pを獲得し、クラス2位の岩本選手(フォルクスワーゲン成城GTI)の40Pを大きくリードして、シリーズチャンピオンに輝きました。尚、第5戦のベストタイムは平松選手(サーラレーシングLUPO)の2'03"651でした。

また同時に実施した、プレイステーション2用ソフト“グランツーリスモ ルポカップバージョン(富士スピードウェイサーキットデータ)”を使用したバーチャルルポカップでは、佐藤選手(カー&ドライバールポGTI)が2'01"561を記録し、2位の小野選手(LVレーシング・ルポ)の2'01"594を0.033秒上回り優勝を決めました。

「プレイステーション」ならびに“グランツーリスモ”は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

### 第5戦:決勝公式結果

決勝	クラス/予選	シリーズポイント	ドライバー/車名	所要時間	決勝	クラス/予選	シリーズポイント	ドライバー/車名	所要時間
1	Ex-3	112	壺林貴也 CRT Lupo GTI	20'48"851	6	Cl-2	24	中村剛 オートブレインレーシング・ルポ	20'57"094
2	Ex-1	108	坂本祐也 Team DUO Lupo	20'48"958	7	Ex-4	23	又多睦 弘 フォルクスワーゲン金沢	21'08"476
3	Cl-1	64	増淵栄男 i-MAGIC&afimp	20'50"070	8	Cl-11	39	小野勝明 ダイドゥミウRT@オノストア	21'08"633
4	Ex-2	51	平松宏隆 サーラレーシングLUPO	20'50"526	9	Cl-5	3	伊本文行 グリオズガレージブリーズルポ	21'09"092
5	Ex-5	62	梅津則子 ピースクルー	20'54"621	10	Cl-4	15	後藤 稔 日本パーカライジングルポGTI	21'09"663

VOLKSWAGEN *Racing*

SACHS

HEAD  
twentyfour seven

ADVAN

BELT OF

NESCAFÉ

Castrol

CHORO Q

COX

SENDAI RACING

Lufthansa

NPSM  
NEW PACIFIC SPORTS MARKETING INC.

VOLKSWAGEN Japan

STB

VOLKSWAGEN Tokyo